

第4回箕輪町地区セーフコミュニティ推進協議会連絡会が開催されました

○連絡会について

連絡会は情報共有等の協働を目的として、平成28年11月に6地区セーフコミュニティ推進協議会と箕輪町で発足し、年2回開催しています。

○第4回連絡会について

第4回連絡会は、箕輪町SC推進協議会会長である町長出席のもと開催されました。

・日時: 平成30年4月25日(水)午後4時から午後5時30分

・場所: 箕輪町役場

・参加者: 箕輪町長以下地区及び町関係者24人

・内容(要旨)

○推進協議会会長(町長)挨拶

・町としては、もっとSC活動を地区へ広げたいと思う。

・豊島区等大都市では、必要性からコミュニティの再生取組みが行われていると感じている。

○町からの報告等

・平成29年度事業報告、平成30年度SC新規事業(免許証自主返納の促進・100万円、夜光反射材の着用促進・200万円、防犯外灯の増設・946万円)、安全安心の日の集い2018(平成30年5月17日開催)、補助金の流れ

質疑・要望として、

・免許返納手続きにおいて証明書発行まで時間が要するので、この間の対応を
⇒回答:手続きされた時点から対応できるようにしたい。

・65歳未満の免許返納者にも助成金を

⇒回答:予算的なこともあるので、検討とさせていただきます。

○地区からの報告等

・地区作成の資料「地区の現状、地区発行のSCだより、交通安全マップ、運転免許証の自主返納にかかわるアンケート集計結果と考察

等により地区の

実情に応じた実践的な活動が報告され、参考とすべく他地区からは質問が寄せられました。

○協議

取組みによる意識変化と活動推進方策についてのフリートーキングでは

・各団体の「おまかせボランティア」との連携を進めている

・負担にならぬよう、全体会議を減らし主要役員の会議を増やしている

・長く役員をやる民生委員・安協・防災士に参加してもらい継続性を確保している等の話があり、連絡会としては今後も情報共有に努めていくこととしました。

○推進協議会会長(町長)から連絡会結果について

・本日の会議では勉強させていただいた。地区の取組みは進んでいるので自信をもって継続していただきたい。

セーフコミュニティの基本発想は横の連携であるので、これを忘れないようにして町、地区とやることを協議推進したい。

・高齢者は増加し、推計データでは驚くような人口減少が言われている。

高齢者の安全安心に予算を入れているが、高齢者の分母が上がるので町のやることだけでは足りなくなる。地区の協力をお願いしたい。

